



# ♡まんまるはーと♡

第11号

認定こども園和光幼稚園  
平成28年12月22日  
主幹 宮園 貴子



## 【子どもの生きる力につながる体験を】

～子どもの心の根っこに届くしつけをとおして～

A君は、お母さんから妹の面倒や、お使いや掃除など、お手伝いをお願いされることがありました。

ある日、A君からお母さんへ請求書が届きました。

### 【請求書】

- ・お使いに行き賃 100円
- ・庭の掃き賃 200円
- ・妹のおもり賃 250円
- 合計 550円 (お母さんへ Aより)

お母さんからのA君への請求書が、机の上にそっと置いてありました。

- ・風邪の看病代 「ただ」
- ・食事の世話代 「ただ」
- ・お洗濯代 「ただ」
- 合計 ただ (A君へ お母さんより)

A君は、お母さんから届いた請求書を手にとりじっと見つめていましたがやがて、大粒の涙を流してとまらなかったとのことです。

それからA君はお母さんのお手伝いを今までよりも頑張るようになりました。

お母さんからの請求書は、子どもの心の琴線を振るわすしつけとして参考になりますね。

幼児教育の領域では、『お手伝い』はとても重視されています。

それは、『お手伝い』をして『人の役に立つ経験』や『責任を果たした経験』を積むことが子どもの自信や生きる力を形成することにつながるからです。

幼稚園でも、子どもたちはお手伝いをしてくれます。その思いや気持ちを大事にし『ありがとう』『助かったよ』と感謝を伝えています。

時には、手伝っても失敗することもあります。子どもは完璧にはできません。

子どもが気持ちよくお手伝いを続けるには、してくれる気持ちを尊重していくことだと思います。子どもと一緒にやり、やり方のモデルを示していくことも大切です。

明日から、冬休みです。家族で過ごす時間も増え大掃除やお正月の準備もあることでしょう。子どもたちにも、何かできることをお手伝いがあるのではないのでしょうか。

子どもが家族の役に立った、『ありがとう』って言ってくれたなどの体験ができればと思います。



## ☆ 2学期もありがとうございました ☆

2学期は、1年の中で一番長い学期でした。子どもたちは様々な経験をし、たくさんの友達と過ごし、心も身体も大きく成長しました。

保護者の皆様には、たくさんのご協力・ご支援をいただき感謝しております。

年末年始の行事などを通し、子どもたちに日本の伝統なる文化・風習を体験させてください。

平成29年、新しい年が皆様にとりまして、よい一年となりますよう、お念じ申しあげます。